

いっまでも食

楽しみを支えたい

「食のバリアフリーについて考える」

病気の後遺症などで食事の形態を加工しないと食べられない方がいます。社会生活も制限されています。今回は食のバリアフリーについて考えます。

日時 平成30年3月18日(日) 13時～16時
(13時開場 13時30分開始)

場所 愛知県がんセンター中央病院
国際医学交流センターメインホール

名古屋市中種区鹿子殿1番1号 地下鉄名城線「自由が丘」より徒歩7分

定員 300名 定員になり次第受付終了
とさせていただきます
入場無料／申込不要



基調公演

「二モ負ケズ・老ニモ負ケズ！」

命のキーワード

「食べる力」とは…

公立能登総合病院 歯科口腔外科部長 長谷剛志

テーブルディスカッション

「うまく食べられなくても、一人で食べるのは寂しい…」

一緒に食べたい！

コーディネーター

公立能登総合病院 歯科口腔外科部長 長谷剛志

愛知県歯科衛生士会 池山豊子

シンポジスト

「施設でのバイキング形式の食事提供の試み」

社会福祉法人西春日井福祉会 管理栄養士 小島真由美

「新しい支援の試み」

愛知県がんセンター中央病院 歯科衛生士 長縄 弥生

「食べることをあきらめない！」

ツバメの会 荒井 里奈

「医療・介護の現場の取材を通して」

中日新聞社 編集委員 安藤 明夫

